

美しい多摩川フォーラム・平成30年度総会議事録

- ・日 時 : 平成30年5月26日(土)9:30~11:30
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺) 開会まで少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、議事に入りますが、第1号議案では平成29年度事業決算(案)、第2号議案では平成30年度事業計画・同予算(案)、第3号議案ではフォーラム規約の一部改正について(案)、以上3件についてご協議を頂きます。後半は、休憩を挟んで、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長の澁谷慎一様による特別講演、三多摩青年合唱団による「多摩川の歌」合唱を予定しており、終了は午前11時半頃となります。なお、広報用として写真撮影をさせていただきますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお申し上げます。

1. 開 会

(司会・渡辺) 只今より、美しい多摩川フォーラム・平成30年度総会を開会致します。私、申し遅れましたが、本日の司会進行役を務めさせていただきます渡辺と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局) 多摩川フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、当フォーラム1,481会員中、委任状による代理人出席を含め188会員が出席され、書面議決書提出の会員数を加えて、合計815会員ということで、当フォーラムの規約第12条2項により、本総会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。本日の資料の確認ですが……。

(司会) それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願い致します。

2. 会長挨拶

(細野会長) 皆さん、おはようございます。今日は、多摩川フォーラム11年目のスタートの日です。会員の皆様には、すでに10周年記念誌が届いていると思いますが、お読みいただきましたでしょうか。表紙をご覧ください。皆様に、常に手に取っていただけるよう工夫しました。裏表紙には、子どもたちや自然、多摩川の写真等が沢山載っています。

今日の総会は、昨年より出席者が多いそうです。20年目に向けた第2ラウンドのスタートに良い日となりました。「多摩川100年プラン」が掲げる、経済・環境・教育文化の3本柱を軸に、邁進

していきたいと思しますので、皆さんのお力をお貸してください。この会は、執行部だけが活動する場ではありません。皆さんの想いと活動力を総動員して、多摩の活性化、ひいては東京の活性化、そして日本のグローバル競争の拠点として、ますます発展していかなければなりません。今日は、衆議院議員の井上先生、濱中青梅市長、大田区の久保様にいらしていただきましたので、お祝いの言葉をいただきたいと思ひます。短いひと時ではありますが、皆さんと共に、第2ラウンドのスタートを切りたいと思ひます。有り難うございました。

3. 来賓挨拶

(司会) どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆様からご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、フォーラムの顧問をお願いしている衆議院議員の井上信治様にご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしくお願い致します。

(井上信治様) 皆様おはようございます。美しい多摩川フォーラムの総会、誠におめでとうございます。私は顧問を務めさせていただいております、ちょうど昭島市から奥多摩町まで、多摩川の上・中流域を選挙区としております、衆議院議員の井上信治です。細野会長をはじめとした会員の皆様、事務局を務める青梅信金や流域自治体の関係者の皆様のご努力により、様々な事業を行っていただいております。多摩川の美しい景観や自然の保護、そして利活用等、もう11年ということですから、そのご尽力に、まずは心から敬意を表したいと思っております。11年ともなれば、恐らく発足当時、多摩川で遊んでいた子どもたちが、早ければお父さんお母さんになっているかもしれない、そういう年月であります。100年間活動を続けていくことはとても素晴らしいことだと思います。美しい自然の保護等は、年数をかけて地道にじっくりやっていくことが必要ですから、更なるご尽力をお願い申し上げます。

この場をお借りして少し宣伝させていただきますと、実は我々は、多摩川を活用した江戸前アユを実現する協議会を立ち上げました。東京オリンピック・パラリンピックもありますので、昔ながらの良き東京、多摩川を取り戻そうということで、その一つが江戸前アユなのです。多摩川のアユは、以前ほど多く獲れなくなり、遡上できなくなった時代が長く続きましたが、これをなんとか復活させていこうと、多摩川流域の堰に魚道をきちんと整備し、更にそれを改善していこうといった活動を始めたところです。それぞれの観点から、それぞれの主体の皆様が協力をしながら、私たちの多摩川をより良いものにしていく活動を、美しい多摩川フォーラムを含めた皆様方と共に行って参りたいと思ひますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。この度の総会、誠におめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、11月に開催される多摩川カヌー駅伝大会の主催6市を代表して青梅市長・浜中啓一様に、ご挨拶をお願い致します。

(浜中啓一様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、青梅市長の浜中です。

本日は、多摩川フォーラムの会員の皆様に多くお集まりいただき、総会が開催されます事を心よりお慶び申し上げます。そして、多摩川フォーラムの皆様には、日頃から流域の皆様と力を合わせながら流域の特徴を最大限に見せていただき、多摩川の良さを発信していただいておりますことを、心から感謝申し上げます。今までの事業計画等を見ましても、源流から河口までの水質調査や、小中学生による環境シンポジウム等、様々な立場で多くの市民が参加し、多摩川の良さを見直そうという活動に関しましても、心から感謝を申し上げます。

ただいまご紹介いただきました通り、6市主催でカヌー駅伝大会を開催しますが、実は私は青梅市カヌー協会の創設者でもあり、50年近くカヌー競技に携わっております。そういった経緯もあり、カヌー駅伝大会を多摩川フォーラムの企画で開催できることに対して感謝を申し上げたいと思いますし、我々組織一同、この大会が成功裏に終わるよう、最大限の努力をさせていただきたいと思っております。

多摩川は、私たちが生まれ育った場所でもあります。子どもの頃から多摩川に親しみ、大人になっても多摩川を離れたくないと思いますし、私もカヌーというスポーツを通じて多摩川と接してきましたので、多摩川のことには知りつくしているつもりでしたが、それを発信するとなると、なかなか難しいものです。このたび、多摩川フォーラムが11年目を迎えるにあたって、様々な形で多摩川の良さを一緒に発信していき、自然を守り、多くの流域の皆さんのご協力をいただきながら、なお一層、活動を充実していきたいと思っております。そのためにも、多摩川フォーラムの皆さんと、これからも活動等を共にしながら、多摩川の良さを発信していきたいと思っております。本日の総会が無事終了し、新しい年度を迎えた皆様のご活躍を心からご祈念申し上げ、お祝いの挨拶に代えさせていただきます。本日は大変おめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上・中流域の自治体を代表して、羽村市産業環境部長・橋本昌様にご挨拶をお願いしておりましたが、急遽所用によりご欠席のご連絡をいただきました。橋本部長様より羽村市長・並木心様のメッセージをお預かりしておりますので、ご披露させていただきます。

「羽村市長の並木でございます。本来であれば、出席させていただき、ご挨拶を申し上げるところでございますが、あいにく他の公務と重なっており、出席することができませんので、大変恐縮ですが、メッセージを送らせていただきます。

本日は、平成30年度の総会が盛大に開催され、心よりお喜びを申し上げます。細野会長をはじめ、役員の皆様、そして、青梅信用金庫の皆様におかれましては、美しい多摩川フォーラムの運営に多大なるご尽力を賜り、多摩川上流域の自治体の一つとして、厚く御礼を申し上げます。

皆様ご案内のとおり、「美しい多摩川フォーラム」は、幅広い特色ある取り組みが進められており、これらの趣旨は、羽村市が市民憲章に掲げております「多摩川の清流に育まれた心豊かな人間性と、花と緑に恵まれた美しいまちを誇りとする」というものに通じるものであります。

引き続き「美しい多摩川フォーラム」が、幅広い皆様との連携推進の下、実践的な活動が大きな

成果を挙げられますとともに、ご参会の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。羽村市長 並木 心」

続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区都市基盤整備部長・久保輝幸様に、ご挨拶をお願い致します。

(久保輝幸様) 皆さんおはようございます。私は多摩川下流域の蒲田から、約2時間かけてこちらに参りました。多摩川流域の長さを体感してきたところです。それでは私から、大田区長に代わってご挨拶を申し上げます。

本日は、美しい多摩川フォーラム平成30年度総会の開催、おめでとうございます。昨年7月に設立10周年を迎えたということで、謹んでお祝いを申し上げます。多摩川下流域でも、「美しい多摩川100年プラン」で提唱されております、経済・環境・教育文化の3本柱を主軸として、現在多くの団体の賛同を得ているところです。様々な取り組みが展開されており、その結果として地域全体の活性化実現に繋がっているものと思っております。この美しい多摩川の中で、多摩川下流域でも年々水質が改善されており、アユやトビハゼ等、多くの魚類が生息しております。また、水辺には、カモやサギ等、50種類の鳥類が飛来する等、自然環境も形成されております。この多摩川の水辺環境の向上には、美しい多摩川フォーラムの皆様が、日々、周辺の美化運動をはじめ、「美しい多摩川100年プラン」として進めている様々な活動の成果が大きく貢献しているものと感じております。大田区でも、多数の区民や協力団体の賛同をいただき、多摩川河川清掃活動を行っております。また、流域の区民が水辺に親しむ活動として、水辺の楽校があり、現在、羽田と鶉の木に2校の楽校がございます。平成26年登録のポート教室をはじめ、川流れの体験や、干潟での環境学習、自然体験、清掃活動をしております。さらに大田区内では、3校目の水辺の楽校設立の動きもございます。設立の早期実現に向けて、引き続き支援をしていきたいと考えております。もう少し大田区のPRをさせていただくと、大田区では、多摩川の河口に位置する羽田空港周辺において、日本全体の経済成長に資するため、官民連携により、世界と地域を繋ぐ新基盤想像発信拠点の羽田ゲートウェイというテーマで、多くの人に憩いや賑わいを提供するよう取り組んでいるところでございます。そして今年度、多摩川沿いに区民の憩いの場となる親水緑地の整備を行う予定になっています。完成後には、美しい多摩川フォーラム様主催による植樹イベントがすでに計画されています。桜の植木も寄贈される予定になっており、世代を通して地域と行政が協力し、この豊かで美しい多摩川を守っていかなければならないと考えます。最後に、美しい多摩川フォーラムの益々のご発展と、皆様のご健勝を祈念して、多摩川下流域自治体を代表してのご挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。それでは、経過報告に移りたいと思います。前にお座りの役員の皆様は、お席をご移動ください。

4. 経過報告（ビデオ放映）

（事務局） それでは、経過報告をさせていただきます。本日は、当フォーラムの活動報告として、ビデオ2本にまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。なお、定例事業等については、お手元資料の3ページをご参照いただければと存じます。

（ビデオ放映）

（事務局） いかがでしたでしょうか。役員の皆様は、元のお席にご移動ください。なお、お時間の関係で、ご紹介できなかった活動が多々ありますが、当フォーラムのホームページにビデオレターというコーナーがあり、動画をアップしているものもありますので、ぜひご覧くださいませ。また、facebook 等にも活動を掲載しておりますので、ご覧いただくことができます。以上で経過報告を終わります。

5. 協 議（議長：細野会長）

（司会） これより本日の総会の議事運営に移りたいと思います。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長にお願いしたいと存じます。それでは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしくお願い致します。

（細野会長） 細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますことをご許し願います。それでは、限られた協議時間ですが、皆様におかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせて頂きたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

（1）第1号議案：平成29年度事業決算（案）

（事務局） はい、資料1ページ目の第1号議案：平成29年度事業決算（案）をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は、当初予算2,000,000円に対し、1,964,000円となりました。その他の項目では、青梅信用金庫様、東急百貨店様、たまりバー50キロRUN&WALK実行委員会様等による寄付金のほか、青梅信用金庫様、そしてA社様による多摩川フォーラム設立10周年記念事業寄付金、青梅市様からの委託金が加わり、前期繰越金と合わせて収入合計額は16,458,136円となりました。

一方、支出の部ですが、ホームページ運営費については、NAS購入費用36,800円が発生したため上振れしております。これは、事務局パソコンの容量を増加させるため、新たに外付HDD、ネットワーク接続ハードディスクを購入したものです。ビデオレター制作費については、下期にビデオ内製化を実現したため下振れしております。美しい多摩川クリーンキャンペーンについては、予定していた3会場のうち、2会場が雨天で中止となったため下振れしております。「フォーラム・御

岳の森」維持管理については、「御岳の森」の木柵を補修したため上振れしております。10周年記念シンポジウムについては、「多摩川の歌」合唱に伴う費用が発生したため上振れしております。100年プラン・パンフレット改訂については、10周年記念誌が完成した後に、この内容を織り込んだ改訂版とさせていただければということで、平成30年度予算に計上しております。ドローンを活用した多摩川空撮映像については、構成に工夫を凝らした点やナレーションを取り入れたことなどにより上振れしております。その他、経費削減努力により、次期繰越金見込額は、2,366,366円（うち1,531,935円は、毎年、大田区民有志の皆さんから寄せられた桜の植樹募金の積立金残高）となり、支出合計額は、16,458,136円となりました。

なお、法人会員アルピン株式会社様の無償によるご協力により、当フォーラムのシンボルマークが誕生しました。どうも有り難うございました。因みにお手元資料裏面の右下に掲載しているものが、シンボルマークになります。

さて、平成29年度決算の監査ですが、資料の2ページ目をご覧ください。5月11日に、当フォーラム監事の館盛和様、同じく山崎真義様より 監査を受け、監査報告書を頂いております。

それでは、監事を代表して館様にご報告をお願い致します。

(館監事) 只今ご紹介に預かりました監事の館でございます。平成29年度事業決算(案)の監査結果について、山崎監事も同一見解ですので、代表してご報告致します。

平成30年5月11日に、平成29年度収支決算書に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。また、平成29年度活動報告等に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを認めます。以上でございます。

(細野会長) はい、有り難うございました。事務局も経費節減の努力をしたということですが、何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認いただけますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)・・・有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

(2)第2号議案:平成30年度事業計画・同予算(案)

(事務局) はい、資料4ページ目の平成30年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は1,950,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、水辺の事業委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金2,366,366円と合わせて合計では12,666,366円となります。

一方、支出の部ですが、ホームページ運営費について、保守委託管理費の見直しを行い、大幅に減額しました。また、上期にADSL回線から光回線に移行を計画しております。次に多摩川夢の桜街道～札所見直しについては、10周年記念事業の一つとして平成29年度に見直し作業に

着手しており、携帯マップ改訂費用として756,000円を計上しております。なお、公式ホームページ改訂費用2,862,000円につきましては、平成31年度の予算に計上したいと考えております。「フォーラム・御岳の森」の改修工事については、木柵の老朽化により実施するものです。また、東北・夢の桜街道運動として、これまで2,000,000円を計上していましたが、青梅信用金庫様の協議会事務局返上により、2,000,000円の拠出金は平成29年度を以って終了することになりました。なお、美しい多摩川フォーラムは、引き続き東北・夢の桜街道推進協議会の構成員として機能しております。また、10周年記念事業の一つとして、平成29年度に予算計上していた100年プラン・パンフレット改訂については、第1号議案でご説明のとおり平成30年度予算に計上しております。この結果、次期繰越金見込額は3,684,366円となり、合計では、12,666,366円となります。

資料5ページ目は、平成30年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。

資料6ページ目は平成30年度主な活動予定、資料7ページ目は平成30年度・会議の予定になります。以上で第2号議案の説明を終わります。

(細野会長) はい、有り難うございました。先ほど説明がありました通り、東北・夢の桜街道推進協議会に毎年2,000,000円計上してはいましたが、全国信用金庫協会にご協力いただけることになりましたので、その分は下振れしております。また、多摩川夢の桜街道の札所については見直しすることになりました。多摩川フォーラムのパンフレットについても、11年目を迎えてリニューアルするということです。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…。有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第3号議案の説明をお願いします。

(3) 第3号議案:フォーラム規約の一部改正について(案)

(事務局) はい、資料8ページ目のフォーラム規約の一部改正について(案)をご覧ください。このところ、民間レベルでは、外国個人旅行者をターゲットにした日帰りツアーなど、多摩の魅力の世界に発信する動きが具体的に出てきております。これに関連して、多摩川夢の桜街道や多摩川酒蔵街道に関する問合せが増加しており、当フォーラムと致しましても国際化を踏まえ、多摩川フォーラムの英文呼称である Forum for the Beautiful Tama River について、フォーラム規約に明記したいと存じます。以上で第3号議案の説明を終わります。

(細野会長) はい、有り難うございました。外国人観光客の数は、東日本大震災の時と比べると、約5倍に増えているそうです。多摩川フォーラムでも正式な英文呼称が必要であろうと、ダニエル・カール副会長にご相談し、決まりました。何か皆様の方からご質問はありますでしょうか。…。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。

す。…有り難うございました。それでは、賛成多数で第3号議案は可決承認とさせていただきます。以上で全ての議案が承認されました。有り難うございました。

6. 意見交換

(細野会長) さて、この機会に、今後の多摩川フォーラムの活動を展望して、皆様からご意見・ご要望等を頂戴したいと存じます。…。特にないでしょうか。何かございましたら、事務局にメール等でお知らせください。

(事務局) 細野会長、有り難うございました。なお、資料9ページは今日現在の役員等一覧になります。ご参考までに添付させていただきましたので、後ほどゆっくりとご覧ください。それでは司会者にバトンタッチ致します。

(司会) それでは、この後、休憩を挟んで特別講演となります。澁谷所長様はご準備をよろしくお願ひします。準備が整い次第、10時30分頃より始めさせていただきますと存じますので、よろしくお願ひ致します。

—休憩—(10分)

7. 特別講演

(司会) それでは、お待たせ致しました。今日は、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長で当フォーラム・アドバイザーの澁谷慎一様を講師にお迎えし、「多摩川改修100年」というテーマでお話をいただきます。会員の皆様には、多摩川およびその水系に関する現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難く存じます。講師の澁谷様は、昭和62年4月、建設省(現・国土交通省)に入省。平成28年6月、独立行政法人水資源機構ダム事業本部ダム事業部次長、平成29年7月、国土交通省中国地方整備局建政部長、平成30年4月、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長に就任され、現在に至ります。それでは、澁谷様、よろしくお願ひ致します。

(澁谷慎一様) 皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました、国土交通省京浜河川事務所長の澁谷でございます。本日は、美しい多摩川フォーラムの平成30年度総会開催、誠におめでとうでございます。私ども京浜河川事務所では、多摩川の管理をさせていただいておりますが、美しく素晴らしい、安全安心な多摩川を作っていくためには、地域の皆様方の活動が必要不可欠だと考えております。今後とも引き続き、多摩川フォーラムの活動と合わせるように、より良い多摩川作りに邁進していきたいと考えております。

本日は「多摩川改修100年」というテーマでお話をさせていただきます。実は多摩川は、大正7年に国による河川改修が始まってから今年でちょうど100年を迎えます。この100年という節目の年に、これまで過ごしてきた100年を振り返り、先人たちの様々な功績を称えると共に、改めて、

これからの100年、どういふ多摩川を地域に残していくべきかを考えるきっかけになれば良いと思ひ、いくつかのイベントを準備しております。私としては、多摩川フォーラムで掲げている100年プランに寄りそう形で、美しい、安全安心な多摩川を後世に引き継いでいきたいと考えておりますので、引き続きご協力をよろしくお願ひいたします。

まず、多摩川の概要ですが、山梨県甲州市の笠取山を水源とし、幹川流路延長138kmの河川です。特に多摩川で特徴的なものとしては、河川勾配が非常にきつひということなんです。日本の川は、欧米大陸系の川に比べて勾配がきつひと言われておりますが、多摩川はその中でも特に勾配がきつひ川なんです。下流の川辺に降りていくと、ゴロゴロとした石が沢山あると思ひますが、下流まであいう石が届くということは、流れが急だということなんです。

この多摩川は、古くは万葉集にも謳われたように歴史ある川で、これは安藤広重が19世紀半ばに描いた多摩川の様子です。これは現在の丸子橋あたりの風景だといわれております。網を投げる漁師の姿が描かれておりますように、さきほど井上先生からお話がありましたが、昔からアユが沢山遡上し、アユ漁が盛んであったという歴史があります。また、舟に乗る人も描かれておりますように、昔の多摩川は暴れ川で、橋を架けることができず、渡し舟があったということなんです。またこの絵は大田区側から川崎側を見た風景だといわれておりますが、描かれた民家の前には堤防がほとんどない状況でした。

その他の多摩川の歴史としては、水利用としての長い歴史があります。左の写真は二ヶ領用水です。1600年前後、周辺の農地に水を引くために開発された用水です。また、戦後の高度経済成長期になると、川崎では工業用水としても使われるようになり、地盤沈下もかなり抑えられたと聞いております。右側の写真は玉川上水ですが、こちらは17世紀半ばに玉川兄弟によって建設され、江戸、東京の用水源として活用されました。

多摩川の水は、昭和初期まで東京のほとんどの水道をまかなっており、昭和30年代まで多摩川水源の水を使っておりましたが、現在は利根川や荒川水系の水を使うようになり、東京都における多摩川の水利用の割合は約2割になっております。しかし東京の歴史や多摩川沿線の歴史を考える上で、多摩川の水利用は意義のあるものであったと考えております。

明治初頭の廃藩置県の時、西多摩地域は神奈川県に属しておりましたが、明治26年に三多摩地区が東京都に編入され、昭和に入って小河内ダムの建設が決定しました。太平洋戦争によって工事が中断しましたが、昭和32年に完成しました。総貯水量は2億トンで、完成当時は世界最大級の水道専用ダムでした。また、関東地方では現時点でもかなり大きいダムで、利根川の矢木沢ダムも約2億トンですので、いかに大きいか分かります。これは東京都の水道水源を示した図です。西多摩地域の給水のブレンドは分かりませんが、羽村市小作で取水した水を使っただけ、一部、利根川水系の水も入っていると思ひます。昭島市と羽村市については、地下水を利用しておりますが、その地下水は多摩川流域に降った水が長年かけて地下水に流入しているため、地下水を活用している地域についても水源管理の重要性についてご理解いただければと思ひます。

次に多摩川の水質の歴史についてお話しします。私より少し上の年代の方に聞くと、多摩川はす

ごくきれいで、子どもの頃水遊びしたとおっしゃいますが、昭和30～40年代に多摩川の水質が悪化し、泡がぶくぶく飛び交うような川になりました。その後下水道の整備が進み、水質はかなり改善し、現在は環境基準値を満たしています。多摩川に大変多くのアユが遡上していて、平成26年度には約520万尾が遡上しました。

次に、砂利採取の歴史です。多摩川では古くから砂利が採取されており、昭和初期までは日本一の砂利採取量でした。特に、関東大震災の復興においては、多摩川の砂利が大量に活用されました。砂利を運搬するために鉄道が整備され、南武線等はほとんど砂利を運搬するために活用されたと聞いております。

次に、多摩川改修事業の経緯についてお話しします。今から100年前の大正7年に直轄改修工事に着手し、昭和39年に新河川法が制定され、多摩川水系工事実施基本計画に基づき事業を行いました。昭和49年に起きた、いわゆる狛江水害を経て、基本計画を改定し、最近の計画に変更しながら現在に至っています。

今から100年前の多摩川はどういう川であったのか、説明させていただきます。明治末期から大正初期にかけて、大変な洪水が多摩川を襲いました。こちらの写真は、明治40年8月と明治43年8月に起きた洪水の様態です。これらの被害に耐えかねた御幸村(現在の川崎市)とその周辺の村民たち500名余りが、大正3年に、目印としてアミガサを着用して神奈川県庁に押し寄せ、多摩川の早期築堤を訴える陳情を行いました。これがいわゆる「アミガサ事件」です。この事件を踏まえ、神奈川県知事が道路を作るという名目で多摩川の堤防を作りました。「これでめでたし」で終わっても良かったのですが、多摩川の左岸(東京都側)と右岸(神奈川県側)において、右岸の整備をすると、左岸側の住民は難しい立場におかれまます。多摩川流域の各自治体は、お互いが仲良く連携しているのですが、ひとたび洪水が起こるとライバル関係になってしまいます。闇夜に対岸の堤防を壊しに行ったという実話も残っているほどです。そういったことから、当時神奈川県側で道路という名目で堤防を作った時、東京側から大きい反発があったそうです。

そのような状況下、大正7年に当時の内務省(現国土交通省)が国による河川改修を始めました。工事着手後、河口から二子橋までの改修を終え、昭和7年にはさらに上流の日野橋まで改修区間が延伸されました。その後、昭和34年の伊勢湾台風を踏まえ、河口の高潮対策が行われ、さらに昭和40年代には日野橋から61km地点まで改修区間が延伸されました。

ちなみに、大正7年当時の多摩川はどうなっていたかと言うと、青い波線に沿った堤防があるのが現在の多摩川ですが、当時は赤で示した小さな堤防がとぎれとぎれにいくつかあったという記録が残っています。先ほど申し上げた「アミガサ事件」は、この地図の「御幸村」から「中原村」にかけて、堤防の無いところで発生した洪水がきっかけで起こった事件です。その後100年をかけて、多摩川の堤防を作ってきました。

多摩川の歴史で忘れられないのが、昭和49年の狛江水害です。台風16号により、狛江市の宿河原堰付近で破堤し、家屋19棟が倒壊・流出しました。これは河川行政にも大きな影響を与えました。

こちらは多摩川の明治時代の地図ですが、多摩川下流域は大きく蛇行していました。また、洪

水のたびに流路を変えていたようです。現在は堤防を整備し流路を固定したことで、橋が架けやすくなり、河川敷は市民の貴重なオープンスペースとなって、年間1,800万人が利用する川となりました。

多摩川流域の人口は、戦後急激に増加しました。日本の総人口は約2倍に増えたのに対し、多摩川沿線の人口は約9倍に増えました。こういったことから、多摩川の治水対策が進んできたといえます。今ではかなり安全になった多摩川ですが、ひとたび水害になると大変な被害を及ぼす川であり、洪水浸水想定区域図を見ると、想定被害額は約25兆円、被災人口は約180万人にのぼります。この25兆円という数字は、東日本大震災に匹敵する被害額です。こういった川に対し、今まで治水対策をしてきましたが、対策にあたっては、特に住民の皆さんの意見を反映した先進的な取り組みがなされました。

現在の治水対策ですが、洪水を流すための断面を確保したり、超過洪水対策としてスーパー堤防を作ったり、いざという時のため、復旧復興のための防災拠点の整備等、ハード面とソフト面の両面から推進しております。

現在下流部では、スーパー堤防を設置し、仮に洪水が起こっても、なだらかな勾配を作ることで壊滅的な堤防の決壊を防いでいます。その効果として、堤防付近が比較的自由に使えるメリットがあります。

大正7年の直轄改修が始まってから今年で100年が経ちます。この100年をきっかけに、100年後の多摩川をどう残していくのか議論を始めたいと考えております。私どもとしては、いくつかのイベントを計画しています。改修100年のイメージキャラとして「百川 多摩(ももかわ たま)」さんという、多摩川の近くに住む女子高生をキャラクターにし、これから各地で様々なイベントを実施していきたいと考えています。このイベントに先立ち、流域市区町村の首長さんが集まり、5月14日に「多摩川改修100年プロジェクト発足式典」を開催しました。7月からはパネルリレーや多摩川100年を巡るツアー、来年3月には、メインイベントとして、校歌で多摩川を歌っている小学校に集まってもらい、合唱コンクールやパネルディスカッションを開催したいと考えております。多摩川フォーラムの皆さんにもぜひご参加いただきたいと考えておりますし、多摩川フォーラムメンバーに観光業の方がいらっしゃれば、インフラツアーについてご相談いただければ、積極的に応援させていただきたいと思っております。

最後に、100年を記念した映像を用意しておりますので、ご覧ください。(映像9分間)

以上で終わります。ご静聴有り難うございました。

(司会) 澁谷様、大変貴重なお話、有り難うございました。それでは、せっかくの機会ですので、どなたか質問の有る方はいらっしゃいますか。

(澁谷様) 4月に多摩川の河川管理を任されたばかりですが、多摩川の特徴として、非常に沢山の方が関わっている川だと思っております。年間1,800万人に利用されている川は、日本では最大級の利用人数です。河川の計画づくりにあたっては、市民の方と綿密に連携しております。現

在の多摩川は、美しい多摩川フォーラムの活動に支えられていると実感しています。そういった意味でも、多摩川フォーラムの活動について期待しておりますし、私どもとしまして、最大限の協力をさせていただきたいと思っております。何かご質問があればどうぞ。

(平野副会長) 歴史や文化を踏まえた解説で、心が伝わってくるような内容でした。有り難うございます。100年のイベントにつきまして、色々と考えていらっしゃるということですが、合唱コンクールの課題曲は決まっているのでしょうか。

(澁谷様) 小学校の校歌で「多摩川」と歌われている校歌が沢山あります。まだ調べきれてはいませんが、流域小学校の2～3割は校歌の中で「多摩川」が歌われているようです。そういう小学校に声を掛け、参加していただき、コンクールを開催したいと考えております。

(平野副会長) 私は府中市出身ですが、母校の校歌でも「多摩川」が出てきました。実は、ご存じとは思いますが、多摩川フォーラムで「多摩川の歌」を制作しておりますので、課題曲へのご検討をよろしくお願いいたします。

(澁谷様) 「多摩川の歌」は事務局からDVDをいただき、何度か拝見しておりますので、検討させていただきます。

(平野副会長) 「多摩川の歌」は、多摩川流域全てが網羅できる歌になっていますので、ぜひよろしくお願いいたします。

(司会) 有り難うございました。他にご質問はございますか。

(澤田アドバイザー) 最近、京浜河川事務所の管轄ではない上流部(奥多摩湖を除く)において、3年ほど前からヤマセミとカワセミが居なくなっていました。人との共生が難しくなっているようです。4月頃に抱卵するのですが、その時期に人が川遊びをすることによって鳥が逃げています。自然との共生を考えていただきたいと思います。

(澁谷様) おっしゃる通り、自然との共生は難しい面が多々あります。国土交通省が管理している区間については、区間を区切って、自然を守るゾーンを設け、場所によって利用の仕方や保全の仕方を考えた計画を作っています。しかしながら、人間の活動も都市によって様々なので、日々、色々なものを見直しながら、より良い環境を作っていきたい思っております。また、管轄外だからといって無視するのではなく、多摩川全体を良くするためにはどういうことをしていけば良いのか、関係機関や市町村と連携して考えていきたいと思っております。様々な意見をいただければ、しっかり考えたいと思っております。

(司会) 他にご質問はございますか。それでは、澁谷様に今一度拍手をお願いします。有り難うございました。

8. 「多摩川の歌」ほか合唱(三多摩青年合唱団)

(司会) それでは、最後に美しい多摩川フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」を、三多摩青年合唱団の歌声に乗せてお届けしたいと存じます。準備のため、いましばらくお待ちくださいませ。三多摩青年合唱団は、結成されてはや55年。『歌は生きる力』をモットーに、演奏活動を行っています。それでは、よろしくお願い致します。

…… 合 唱 ……

(1) 多摩川の歌

(2) 涙そうそう

(司会) 皆さん、有り難うございました。如何でしたでしょうか。うっとりするような「多摩川の歌」でしたね。当フォーラムでは、引き続き、「多摩川の歌」の普及に努めて参りたいと存じます。以上をもちまして、「多摩川の歌」の合唱を終わります。三多摩青年合唱団の皆さんに拍手をお願い致します。

9. 会長総括

(司会) さて、早いもので、総会のお開きの時間が迫ってきております。ここで、細野会長に総括をお願いしたいと存じます。

(細野会長) 9時半から始まった平成30年度総会が、めでたくお開きに近づきました。改めて、京浜河川事務所長の澁谷様、有り難うございました。また、三多摩青年合唱団の「多摩川の歌」もとても良かったです。この歌は、谷川俊太郎さんの作詞で、命が逆るようなフレーズがあります。そしてこれは私が一番好きなフレーズですが、「人々の心ゆるくむすんで」とあります。今日を第2ステージのスタートと捉え、これからも私たちをゆるくむすびながら前進して参りたいと思います。今日は有り難うございました。

10. 閉会挨拶

(司会) 有り難うございました。それでは閉会挨拶と致しまして、平岡副会長にお願い致します。

(平岡副会長) 閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、早朝より、美しい多摩川フォーラム平成30年度総会にお越しいただき、誠に有り難うございました。提出させていただいた3議案につきまして、皆様にご審議いただき、無事承認をいただき有り難うございました。いよいよ平成30年度の事業が本格的に始まります。先ほど、細野会長からお話がありましたように、多摩川

フォーラム10周年が過ぎ、第2ステージの11年目が始まります。今年度も様々な活動が予定されております。ひとつでも多くの活動にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうも有り難うございました。

(司会) 皆様、本日は長時間に亘り、会議進行にご協力を頂きまして、誠に有り難うございました。これをもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・平成30年度総会を閉会とさせていただきます。有り難うございました。

以 上